



森永乳業(株)情報システム部 人財育成計画について

森永乳業(株)
情報システム部
2009年10月1日

1



アジェンダ

1. 会社概要
2. 当社の新入社員教育について
3. 情報システム部での人財育成計画
4. これからの課題

2

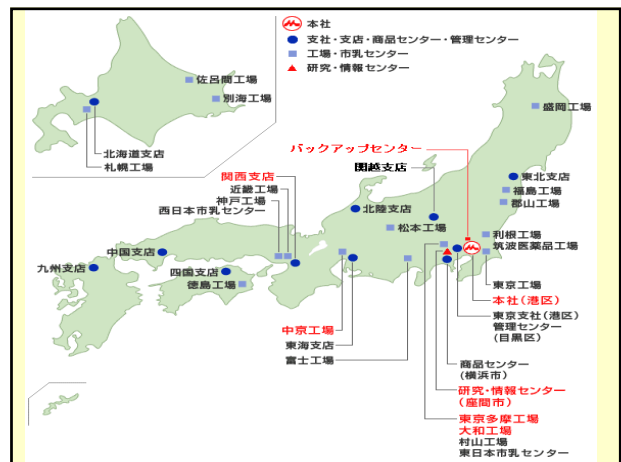


1. 会社概要

森永乳業概要 (平成21年3月末)

資本金	217億円
売上高	4450億円(単体)
	5839億円(連結)
経常利益	92億円(単体)
	112億円(連結)
従業員数	男2516名 女587名
	計3103名

3



主な事業内容 - 乳製品の製造と販売
大部分は、国内市場がターゲット

1. 市乳部門(チルド、日配品)

乳飲料、ジュース、デザート、ヨーグルト
(販売ルート: 量販店、CVS、牛乳販売店)



2. 乳製品部門(保存品)

クリーン、ドライミルク、チーズ、バター
(販売ルート: 食系卸、薬系卸)



3. アイスcream部門

ピノ、パルム、モウなど
(販売ルート: 冷菓特約店)



5



情報システム部の概要

● 人数

- 総勢 63名(外注含む)
- 正規 44名(男子31名、女子13名) 09.06.01現在

● 特徴

- コンピュータセンターであるさがみ野に統一 08.03.31~
- 女性比率が高い、30才後半~、40才前半が少ない
- 森永乳業グループで唯一の情報システム部門
- 基本的にさがみ野に集中管理、集中処理
- 関係会社含めインフラ統一、機種統一、ソフト統一実施
- 基本は内製、オーバーフロー分のみ外部委託

6

2. 当社の新入社員教育

●採用背景：

- 情報システム部専任の採用は、主に開発や運用業務として、専門卒を数名だけ採用しています。(毎年あるとは限らない) 情報システム部専任としての学卒の採用はありません。
- 基本は、森永乳業として採用され、配属先が「情報システム部」になります。ただし、人数は1～2名ぐらい。
- システムの専門知識は配属後に教育しています。

7

2. 当社の新入社員教育

●新入社員教育について

- 2週間ほど、人財開発室主催の研修があります。
・主に森永乳業の業務を知る。
・社会人としてのマナーなどを身につける
- 研修の最後に配属先が発表になり、原則は、それぞれの配属先にて、OJT(職場内教育)の中で情報システムに関する操作などを先輩社員が教えます。
- または、定期的に行われている社内パソコン研修に申し込み、EXCELやWORDなどの操作を受講します。

8

2. 当社の新入社員教育

●配属前研修について

- 以前は2日間ほどあり、PCの基本操作(文字入力、Windowsの使い方)、EXCEL基本と社内システム実習が行われていました。
- 現在は、操作研修はなく、PowerPointを利用し、資料を作成し、そのデータを用いて発表を実施しています。

目的：操作実習ではなく、PCを使って何ができるか実践で感じ、学んでもらうこと。
人に何かを伝える大切さを自ら感じてもらうこと。
他の人のプレゼンを聞く、見ることで、刺激になること。を主体をおいています。

9

2. 当社の新入社員教育

パソコン操作が詳しいこと、早いことが重要ではなく、プレゼンをわかりやすくするため等の道具であること。

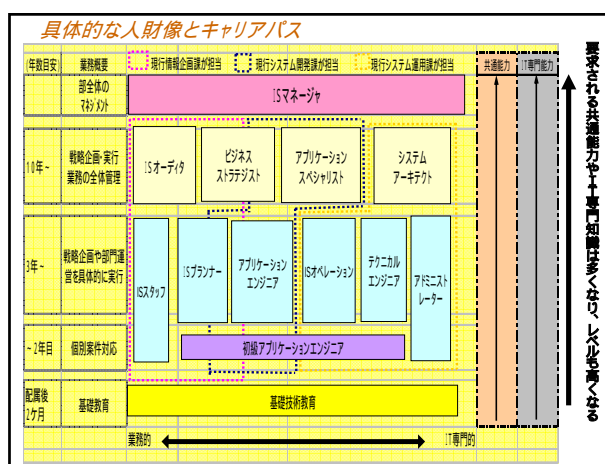
PCを使って、作業が効率的にできるか。が重要であると考えています。

10

3. 情報システム部での人財育成計画

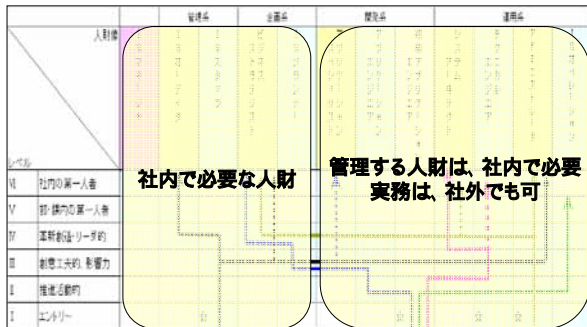
- 当社の場合、配属後、それぞれの部署で部署の業務にあった教育がなされています。
- 情報システム部の場合は次のように育成計画を作っています。

11



情報システム部内のキャリアフレーム

印が最初にエントリする起点、技術を取得することで企画系、開発系と担当課可能業務分野が広がります



・各人材像で存在する(必要とされる)と思われるレベルに色づけしています。
・比較的多いと思われるキャリアパスについて矢印で表示されています。
・ISマネージャは特定のキャリアはないと思われるので、上位レベルの人材がスライドするイメージです



3. 情報システム部での人材育成計画



- 現状のスキルと目指す人材像から、研修などの育成計画を立てる
 - 専門知識
取得方法が明確で、習得可能な技術
(ex. Officeアプリケーション、プログラム作成研修等)
 - 共通能力
専門知識を活用して、やりたい事が実現できる力
(ex.伝達力、表現力、理解力等)

14



4. これからの課題



～重視している能力

- 必ずしも、情報システム部に所属するわけではなく、配属が変わることもある。
→ どこでも通用する能力が必要。

共通能力の育成が重要！

- パソコン相手ではなく、人を相手に仕事をしている。
→ コミュニケーションが重要。
- リテラシ能力が重要。

15



4. これからの課題



～重視している能力

- 具体例
 - 伝達力、表現力
適切な伝達手段で情報伝達し、関係者に理解してもらうことができる。
 - 問題解決能力(リスク感知力)
なぜ？と思うこと。気付き。
 - 理解力
相手の話すことの主旨をつかむこと。
その場の空気を読む。
わからないことをそのままにしないこと。

16



ありがとうございました
完

17